



～循環型社会形成のための3R啓発情報誌～

3 R く る

令和元年10月

vol.17

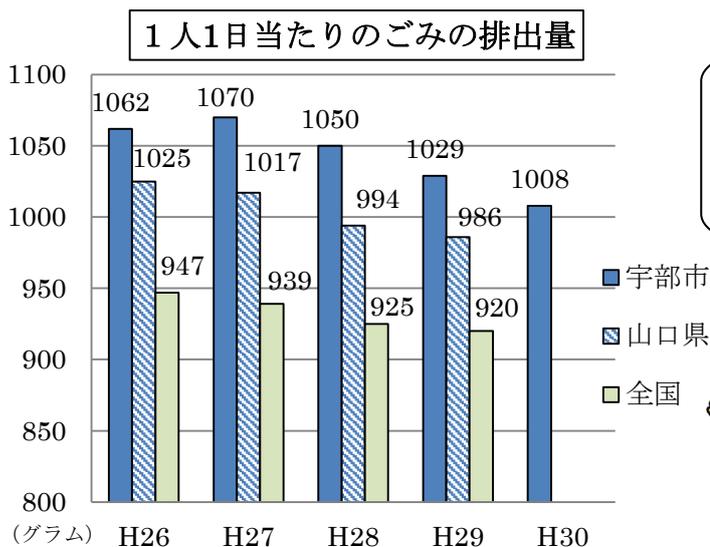
～宇部市のごみの現状と指定ごみ袋について～

宇部市では、令和3年度までに、1人1日当たりのごみの排出量を840gに削減する目標を掲げて、これまで様々な3Rの取組みを行ってきました。

その結果、平成30年度の1人1日当たりのごみの排出量は1,008gとなっていますが、この数値は、全国や山口県と比較しても多く、本市の目標値にも届いていません。

このことから、更なるごみの減量化を図るため、現行の指定ごみ袋制度の見直し(有料化)について、検討しているところです。

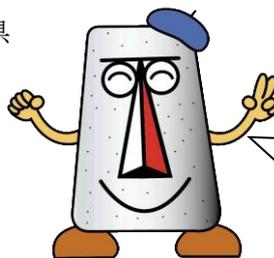
宇部市のごみの現状



みんなでいろいろ取り組んでいるのに、まだ全国平均より100g以上も多いね！



ごみの処理経費は1年間で約19億円！！
ごみを減らすことで節約できるよ！



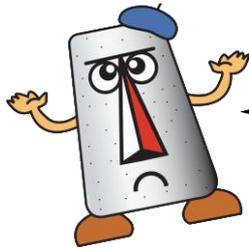
宇部市のごみ減量化の主な取組み

段ボールコンポストの普及促進	生ごみの水切り・草木の天日干しの啓発
子ども服・絵本のリユース事業	子育てグッズのリユース事業
家庭不用品のリユース (うべecoリユース掲示板)	古着・古布のリサイクル
廃食用油のリサイクル (BDF)	使用済小型家電のリサイクル
環境学習	再生資源集団回収奨励金制度
資源ごみの分別収集	エコクッキングの普及促進
古着・古布売払校区分配事業	資源物地域拠点回収事業
※ 30・10運動の推進	フードバンク事業

※ 30・10運動とは、「宴会の開始から30分と、閉宴10分前は席に座って食事を楽しみましょう」というもので、飲食店からの食品ロス削減を目的とした取り組みです。

裏面もご覧ください

(裏面)



いろいろな取り組みをして、みんなで頑張っているのに、
ごみがなかなか減らないね！

そうなんだ！それで市では更にごみの減量を進めることと併せて、
ごみ処理経費も削減するために、指定袋制度の見直しについて検討を始めたんだね！！



現 行 の 指 定 袋 制 度 に つ い て

本市では、それまで黒い袋やレジ袋などで排出が可能であった燃やせるごみについて、平成14年4月から、ごみの減量・分別の促進・危険物の混入防止を目的として、袋の中が確認できる一定レベルの透明度を持った「燃やせるごみの指定袋」(※以下指定袋という)を導入しました。

「指定袋」は、市が規格を定め、申請・承認を受けた事業者により製造され、自由価格で販売しており、

現在の指定袋の料金にはごみ処理手数料は含まれていません。

注目



現 在 、 宇 部 市 で 考 え て い る こ と

指定ごみ袋の制度を見直し、市民の方にごみの排出量に応じて、ごみ処理手数料を負担していただくことで、費用負担の公平性と、更なる排出抑制や分別に向けた意識の向上、また、ごみ処理経費の削減と、将来のごみ処理施設の建設費用の節減を図りたいと考えています。

そこで、現在、指定ごみ袋の有料化(ごみ処理手数料を負担していただくこと。)について、宇部市廃棄物減量等推進審議会で検討していただいています。

今後も引き続きごみの削減にご協力をお願いします！

